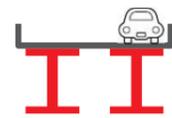


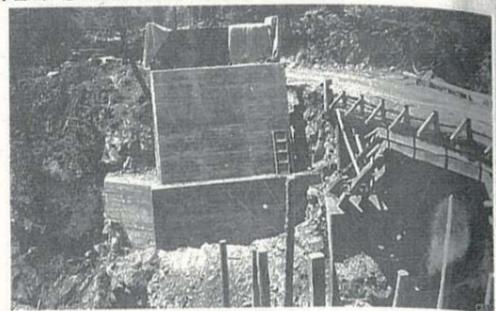
古い橋の自己紹介



短い橋に使われることが多いよ

- * 長さ：24.8m
- * 体重：約140トン
- * 誕生日：昭和39年1月（60歳）
- * 桁の形：I桁（アルファベットのIの形）

工事箇所／檜枝岐村字見通橋 請負人／馬場建設(株)



▲左岸橋台出来形（昭和38年8月14日）

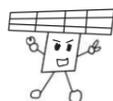
▼昭和38年度／工第23-1号 路線名／沼田・田島線 工事名／橋梁架換工事



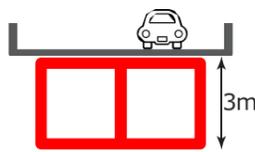
▲完成渡橋式

出典…山口土木史

新しい橋の自己紹介



- * 長さ：69.0m
- * 体重：約900トン
- * 誕生日：令和6年3月（0歳）
- * 桁の形：箱桁（四角形の形）

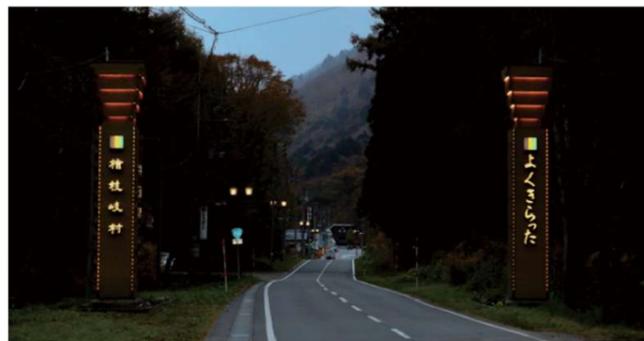


長い橋に適しているよ
軽くて丈夫な段ボールみたい！

本日の通り初めの写真を掲載します。



中土合公園からの眺望



来訪者を迎える井籠門



令和6年11月22日
福島県南会津建設事務所

福島県南会津建設事務所 事業部 道路課

お問い合わせ

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4 277-1

電話 0241-62-5325 FAX 0241-62-5340



南会津建設事務所
公式サイトへシ
ヤンブします



事業の目的

国道352号は、新潟県柏崎市から本県を通り、栃木県河内郡上三川町までを結ぶ重要な幹線道路であり、県内有数の観光地である尾瀬等を訪れる方や檜枝岐村にお住まいの皆様の生活にとって欠かすことのできない道路です。

現在の見通橋前後の道路は、道幅が狭く歩道もない状況であることから、**安全で安心な通行の確保、除雪作業の円滑化**を図るため、平成24年度から歩道整備事業に着手しました。

事業の概要

計画延長 L=780.0m(今回開通延長 178.9m)
 車道幅員 W=6.0 (9.25)m うち、歩道幅2.0m
 道路規格 第3種第3級
 事業期間 平成24年度～

事業の経過

平成24年度 事業着手 (測量・調査・設計等)
 令和2年度～ 見通橋下部工 (役場側のA1橋台) 工事着手
 令和4年度～ 見通橋下部工 (道の駅側のA2橋台) 工事着手
 令和4年度～ 見通橋上部工工事着手
 (2か年債務工事 R4:桁製作 R5:架設)
 令和5年度～ 道路改良工事着手
 令和6年11月22日 一部供用開始 (L=178.9m)



出典：国土地理院撮影の空中写真 (2019年撮影)

現在の見通橋

【橋 長】 24.8m
 【完成年月】 昭和39年1月 (60年前)



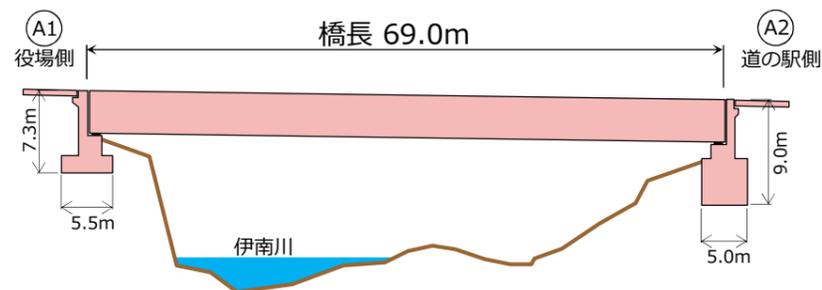
道幅が狭く歩行空間が不十分



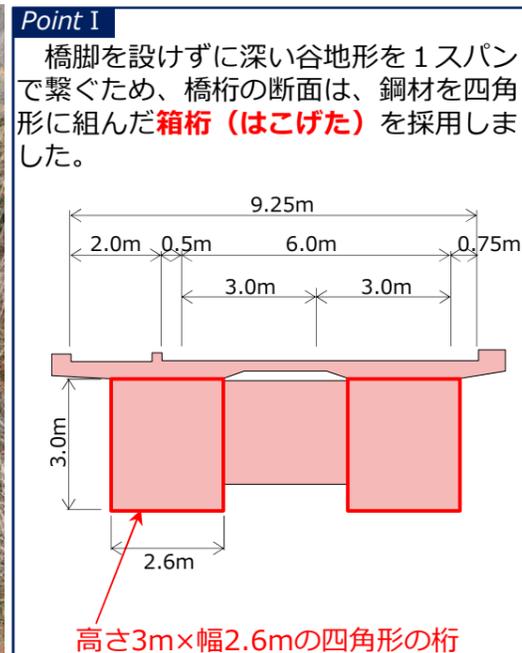
道幅が狭く除雪作業にも困難が伴う

新しい見通橋

【橋 長】 69.0m
 【幅 員】 6.0 (9.25) m
 【上部工形式】 単純鋼箱桁橋 **Point I**
 【桁架設工法】 送り出し工法 **Point II**
 【下部工形式】 逆T式橋台 (直接基礎)



深い谷地形に橋を架けるため、
Point I 箱桁 (はこげた)
Point II 送り出し工法
 を採用しました。



Point I
 橋脚を設けずに深い谷地形を1スパンで繋ぐため、橋桁の断面は、鋼材を四角形に組んだ**箱桁 (はこげた)**を採用しました。

高さ3m×幅2.6mの四角形の桁

Point II

橋の周辺にスペースがなく、クレーンで橋を設置することができないため、陸地で組み立てた橋桁を所定の位置まで送り出す「**送り出し工法**」を採用しました。橋桁を工場で製作し架設するまで2年を要しました。

